

令和6年度 第1回久留米市食育推進会議 議事録

日時：令和6年7月29日（月） 14：00～15：15

場所：久留米市職員会館メルクス 3階ホール

出席者：橋本会長、浅野副会長、坂井委員、左村委員、高原委員、高木委員、尾形委員、笠委員、山崎委員、梅本委員、藤田委員、豊福委員、西村委員、半田委員、重石委員 15名

欠席者：江島委員、立山委員、山下経男委員、友野委員、下坂委員、山下伸子委員、佐藤委員、和田委員 8名

事務局：農政部 井上次長

農政課 戸上課長、池上補佐、澁田

農業の魅力促進課 古賀課長、小形補佐

子ども未来部子ども保育課 中村課長、古賀

子ども未来部こども子育てサポートセンター 乙丸所長、小宮

教育部学校教育課 内田、高部

教育部学校保健課 深田課長、相浦主査

健康福祉部保健所健康推進課 関課長、島本主査

環境部資源循環推進課 松永課長、恒屋

傍聴者：なし

次第：1 会長あいさつ

2 委員紹介

3 第4次久留米市食育推進プランについて

4 議案

第1号議案 令和5年度 久留米市食育推進会議 事業実績及び決算、監査

第2号議案 令和6年度 久留米市食育推進会議 事業計画(案)、予算(案)

5 報告

(1) 第4次食育推進プランに基づく令和5年度事業実績・令和6年度事業計画

(2) 第4次食育推進プランにおける目標指標の進捗状況

6 その他

議事：

1 会長あいさつ

2 委員紹介

3 第4次久留米市食育推進プランについて

4 議案

第1号議案 令和5年度 久留米市食育推進会議 事業実績及び決算、監査

原案のとおり可決

第2号議案 令和6年度 久留米市食育推進会議 事業計画(案)、予算(案)

原案のとおり可決

5 報告

(1) 第4次食育推進プランに基づく令和5年度事業実績・令和6年度事業計画

(2) 第4次食育推進プランにおける目標指標の進捗状況

A 委員	PR の方法としてポスターやリーフレットがあると思うが、今回 YouTube の再生回数が上がっているので、SNS での発信も頑張っていたきたい。
事務局	コロナ禍で発信の機会が限られていたため、SNS や Youtube での発信に取り組んできた。今後も SNS での発信を積極的に行っていく。
B 委員	残食率を下げるためには子どもたちが食べられるメニューにするのか、子どもたちが食べられる量を増やすのか。強要すると食べられなくなったりするので、子どもたちのためにも食べる量を調整する方向で取り組んでもらいたい。 食育の日に早く帰宅して家族と一緒に食事をするよう促す取り組みがあるが、食事を作る負担もあるので、久留米の食材を取り扱う店での外食をすすめると良いのではないかな。
事務局	小中学校において完食を強要はしていない。残食を減らすための工夫として、学年によってクラスごとの量を調整したり、3種類くらい量の違うものを用意し選んでもらうようにしたりしている。残った分は食べられる人が食べるようにしている。 食育の日に関しては、地産地消推進店と連携しているので、食育通信等で久留米産の食材を使った外食についても発信していきたい。
C 委員	資料1 基本施策Ⅲで学童農園事業を支援とあり、44校中37校実施とあるが、この実施されているところは、学校からの要望があり実施されているのか？(南小学校を含めた7校で実施されていないのは何故か?)
事務局	ブロック別に JA 青年部に協力いただいておりますが、農地の状況や要員によって市の中心部では実施できないこともある。南小学校校区内に適当な農地がなかなか無く、実施できていないのが現状である。コロナ禍で実施校が減っているため、今後も関係機関と連携しながら増やしていきたいと考えている。
C 委員	先日、にぎりめしの集いに初めて参加して、子ども達の農業体験が食育に強くつながると個人的に感じていたところだったので、何か良

	い案があれば教えてほしい。
事務局	西国分校区でも農地がなく、南校区と同じく人数も多いので、コミセン事業の一環で一時期ふれあい農業公園まで行って体験していた。その後貸し農園を見つけ、JA 青年部と連携して学童農園を始めた。農業体験の意向があれば、ご連絡いただければ担当課や JA 青年部につないでいきたい。
会長	この会議で意見を出していただくのは貴重である。実現に向けて取り組んでいきたい。
A 委員	JA 青年部は 13 支部あり、私は宮ノ陣小学校、南薫小学校に対して学童農園を行った。日吉小学校ではさつまいもの定植をしていたが、宮ノ陣まで来てもらっていた。交通の便を考えたところで現在の取組み状況になったと思う。南小学校であれば上津、高良内支部あたりが担当になるので、問い合わせがあれば対応したい。
会長	この会議でこういった意見が出たことを青年部の会議の中で情報として発言していただきたい。
D 委員	とてもいいプランを実行しており、頑張っていると思う。しかしそれが目標値にあまり反映されていない印象。プランと目標値をすり合わせていくと実施していることがもっと評価されるのではないかと。 資料 2 の目標指標に残食率の平均値が書いてあるが、プランの実績としては書かれていない。どこに書かれているか。
事務局	残食率の平均値は、食育推進プランの概要の個別施策 1 にある。実績にあげるとすれば、資料 1 の基本施策 1、個別施策 1「②魅力ある学校給食を通じた食育の推進」のところになるが、直接的な取組の記載はしていない。
D 委員	基本施策Ⅳの環境に配慮した食育で、特に若い女性はダイオキシンが体に溜まって赤ちゃんに伝わってしまうので、若い方向けの啓発活動の中にダイオキシンを摂取しないというのを将来的にプランに入れてほしい。
会長	現在のプランが令和 7 年度までなので、次回のプランで検討したい。
E 委員	地産地消の取組みで、学校給食で導入した久留米産農産物の使用割合（金額）が下がっているが、久留米産農産物を買っていないのか、使用割合が下がっている原因は何か。久留米産農産物の価格が高騰したから、他から買っているのか。
事務局	食材価格の高騰が原因の一つであり、これは久留米だけではない。久留米産農産物の使用割合は米や野菜、果実という区分で分けて算出している。米の久留米産農産物の使用割合は 100%であるが、野菜等はそうではない。久留米にない野菜もあるため久留米産農産物の使用割合が低くなる。使用割合が 100%であるものより、100%でないものの価格が高いので、金額で見ると久留米産農産物の使用割合の金額が低

	<p>く見えてしまっている。</p> <p>令和4年度と比べると、令和5年度は上がっている現状ではある。</p>
F 委員	<p>金額だと問題があるのなら重量にしてはどうか。</p>
事務局	<p>一つ前の第3次プランでは重量ベースだった。しかし第3次プランでも目標には達していなかった。国の計画でも金額ベースになったため、久留米市もそうした。金額ベースでいくと久留米産農産物の使用割合は約50%だが、市内で採れる野菜はほとんど久留米産農産物を使用している。久留米で通年では採れない野菜はどうしても市外の野菜を使わないといけない。</p>
G 委員	<p>資料1の個別施策1生活習慣病予防・改善のための食育推進について、くるめ健康のびのびポイント事業と連携することはいいことだと思う。生活習慣病予防などいろいろと繋がった取組みになっている。今後も連携を継続してほしい。</p>
事務局	<p>アプリの普及は今後も行っていく。現在アプリのダウンロードが7,500人くらいいるのもっと増やしていきたい。今までは健康イベントでアプリの普及を行っていたが、今後は職域や事業所、学校や地域にも広げていきたい。</p>

6 その他

配付の人権同和問題各講座チラシ・男女共同参画リーフレットについて説明